

記入例

別記様式第1

登録申請書

年 月 日

(宛先)
越谷市長

住所 埼玉県越谷市東越谷〇—〇
申請者
氏名 株式会社越谷市保健所
代表取締役 〇〇 〇〇

(法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

建築物における衛生的環境の確保に関する法律第12条の2第1項の登録を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

登録区分	建築物 <u>空気環境測定</u> 業
営業所の所在地	越谷市〇〇1-2-3
営業所の名称	越谷市保健所
営業所の電話	048-973-7533
営業所の責任者名	越谷 太郎

添付書類 営業所付近の案内地図
法人の場合は登記事項証明書（再登録は除く）

(備考) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

設 備 ・ 機 器 名 簿

営業所名 越谷市保健所

年 月 日 現在

機 械 器 具 名	名 称 ・ 型 式	数 量	購 入 年 月	備 考
浮遊粉じん測定器	●●製●●型 (厚生労働大臣の登録を受けた較正されたもの)	1	R●.●.●	R●.●.● 較正
一酸化炭素測定器	●●製●●型 (検知管方式)	1	R●.●.●	
二酸化炭素測定器	●●製●●型 (検知管方式)	1	R●.●.●	
温度測定器	●●製●●型 (0.5度目盛り)	1	R●.●.●	
相対湿度測定器	●●製●●型 (0.5度目盛り)	1	R●.●.●	
気流測定器	●●製●●型 (0.2m/s以上の気流を測定する機器)	1	R●.●.●	
ホルムアルデヒド測定器	●●製●●型 (厚生労働大臣が別に指定する測定器)	1	R●.●.●	

(備考) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

機械器具の写真を貼付してください。

監督者等名簿

営業所名 越谷市保健所

年 月 日現在

監督者等の名称 (注1)	氏 名 生 年 月 日	業務の範囲 (注2)	経験年数	資格の種別 (注3)	講習(再)会等の番号 資 格 年 月 日	有 効 期 限
空気環境測定実施者	越谷 花子 ○年 ○月 ○日	第 1 班	○年	空気環境測定実施者講習会修了	第○○○○○号 ○○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
空気環境測定実施者	越谷 太郎 ○年 ○月 ○日	第 2 班	○年	空気環境測定実施者(再)講習会修了	再第○○○○○号 ○○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
	年 月 日					
					第 号	
					再第 号	
					年 月 日	年 月 日
					第 号	
					再第 号	
					年 月 日	年 月 日
					第 号	
					再第 号	
					年 月 日	年 月 日
					第 号	
					再第 号	
					年 月 日	年 月 日

講習会の修了証のコピーを添付してください。

監督者の資格の期限が切れている場合は登録できません。
 また、監督者は次の者と兼務している場合には登録できません。
 ① 特定建築物の衛生管理技術者
 ② 他の登録業の監督者等

(備考) 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 番とする。

(注 1) 清掃業の場合は清掃作業監督者、空気環境測定業の場合は空気環境測定実施者、空気調和用ダクト清掃業の場合はダクト清掃業監督者、飲料水水質検査業の場合は水質検査実施者、貯水槽清掃業の場合は飲料水貯水槽清掃作業監督者、排水管清掃業の場合は排水管清掃作業監督者、建築物ねずみ昆虫等防除業の場合は防除作業監督者、建築物環境衛生総合管理業の場合は統括管理者、清掃作業監督者、空調給排水管理監督者及び空気環境測定実施者と記入する。

(注 2) 監督者等が複数いる場合は、それぞれの業務分担を記入する。

(注 3) ○○(再)講習会修了、建築物環境衛生管理技術者免状保有者等と記入する。

作業実施方法等

営業所名 越谷市保健所

年 月 日現在

	作業班名	監督者等の氏名	使用する機械器具
作業班編成	第 1 班	越谷 花子	浮遊粉じん測定器、検定器 (CO, CO ₂)、温度計、相対湿度計、風速計、ホルムアルデヒド測定器
	第 2 班	越谷 太郎	浮遊粉じん測定器、検定器 (CO, CO ₂)、温度計、相対湿度計、風速計、ホルムアルデヒド測定器
編成			
成			
作業手順等	別紙のとおり		
作業手順等	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #FFD700;"> <p>作業手順には次の事項を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 空気環境の測定方法 ● 測定器の点検、校正等の方法並びにこれらの記録の保管方法 ● 測定結果報告作成の手順並びに測定結果の保存方法及び保存責任者の氏名 <p>※ 記入例は別紙参照。</p> </div>		

【空気環境の測定方法】

特定建築物の使用時間中に、各階ごとに、居室の中央部の床上75cm以上、150cm以下の位置において、次のとおり測定を行う

粉じん計：グラスファイバーろ紙を装着して、〇〇分、(操作内容)～で測定する。

一酸化炭素：検知管を装着後、〇〇分静置し、測定する。

二酸化炭素：検知管を装着後、〇〇分静置し、測定する。

温度計：〇〇分静置し、測定する。(〇〇環境下で検査しないこと)

相対湿度計：〇〇分静置し、測定する。(〇〇環境下で検査しないこと)

気流：(操作内容)～で測定する。

ホルムアルデヒド：(操作内容)～で測定する。

【測定器の点検、較正等の方法並びに記録の保管方法】

点検は業務の開始前及び、業務後に測定者が点検を実施する。

点検した内容を点検記録表に記録する。なお、記録は測定器ごとに作成する。

点検後は、点検記録表に実施者の名前を記入する。

(点検方法)～

較正方法は、次のとおりである。なお、〇〇測定器、〇〇測定器は〇〇株式会社に較正を委託する。

(較正方法)～

(委託会社)〇〇会社 越谷市〇〇

(委託する機器)〇〇、〇〇

(較正時期)～

【測定結果報告作成の手順並びに測定結果の保存方法及び保存責任者の氏名】

測定結果報告は「自社様式〇〇」を用いて、測定者が作成する。

測定結果保存期間：5年間保存

保存責任者：越谷 花子

(備考) 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

作業実施方法等

営業所名 越谷市保健所

年 月 日現在

業務を委託する際の手順及び委託した業務の実施状況の把握方法	
〇〇測定器の較正委託手順 (手順を記載～)	業務委託しない場合には、「業務委託なし」と記入してください。
※ 機械器具等の維持管理は、原則として自ら実施すること。 これらの業務を他の者に委託する場合は、あらかじめ、委託を受ける者の氏名(法人にあっては、名称)、委託する業務の範囲及び業務を委託する期間を建築物の所有者、占有者その他の者で当該建築物の維持管理について権原を有するものに通知するとともに、受託者から業務の実施状況について報告を受けること等により、受託者の業務の方法が別紙5-1に掲げる手順を満たしていることを常時把握すること。	
苦情及び緊急の連絡に対する体制	
対応は以下のとおり実施する。 ①通報を受理、②監督者、責任者に連絡、③苦情等対応、④通報者、建築物維持管理権限者等に対応状況を報告、 ⑤対応内容を記録し、〇年保管する 受付先 〇〇営業所 TEL:〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
社内で体制がわかるようなマニュアル等を作成している場合は、「別紙のとおり」と記入し、添付でも可能です。	

(備考) 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 番とする。